




藻場と保全の取り組み (No.①)

藻場の名称	由良町衣奈、戸津井、大引、小引地先		
海域(府県)名*1	紀伊水道(和歌山県)	エリア名*1	由良湾
藻場の面積	100ha 出典:【(環境省生物多様性の観点から重要性の高い地域)】		
藻場のタイプ	アマモ場	ガラモ場	アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()
藻場の特徴	由良町衣奈地区から大引地区は瀬戸内海に含まれるが、太平洋との境界に近く、黒潮の影響を比較的強く受ける。この地区の地先は主に磯であり、所々に砂浜がある。磯には、アワビ類の生息にとって有用なカジメ・クロメ類やアカモクなどの海藻が見られる。		
保全の取り組み名称	磯根漁場再生事業		
実施団体名	由良町		
連絡先住所	〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里 1220-1		
代表者名	由良町長	Email	sanken@town.yura.lg.jp
団体会員数	名	HP	http://www.town.yura.wakayama.jp/
(活動の概要)			
磯焼けの発生により、アワビ類等の磯根資源が衰退しているため、由良町漁業振興協議会が行うカジメやアカモクなどを実海域に移植する藻場造成に対して支援を行い、磯根資源の再生を図る。			
(主な活動内容)			
種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他()			
(最近の活動実績)			
・平成29年1月17日 天然海域から採取したカジメと人工的に生産したカジメ種苗を磯焼け海域に移植した。その際、アイゴやウニ類による食害を防ぐため、移植場所をネットによって取り囲んだ。			
			
・平成29年5月8日 天然海域に生育しているアカモクを採取し、人工魚礁を用いて磯焼け海域に移植した。			
			

関連する生物種等	は希少種
○野鳥: ハヤブサ、ウミネコ ○藻場の生き物: アカメ、ヒゲダイ、ヒゲソリダイ、クロコショウダイ、クロダイ、ヘダイ、カサゴ、ニジギンボ、リュウグウハゼ、サビハゼ、サツキハゼ、アイゴ、クサフグ、アメフラシ、タツナミガイ、ウミナメクジ、アカウニ、ムラサキウニ、ガンガゼ、ツマジロナガウニ ○海藻(海草): アマモ、ウミヒルモ、カジメ、アカモク、ガラモ、ホンダワラ、マメダワラ ○植物:	
希少種の特徴等	
○野鳥: 海岸沿いにハヤブサが周年見られる。また隣接地にウミネコの繁殖地がある。 ○藻場の生き物: 隣接する湯浅湾でアカメの目撃、捕獲がたびたびあり、アカメの繁殖環境として沿岸藻場は重要であることから本海域の利用も考えられる。 ○海藻(海草): 前述の海藻類に加えて、小規模なアマモ群落、ウミヒルモ群落が点在する。	

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

藻場と保全の取り組み (No. ②)

藻場の名称	徳島市漁業協同組合前		
海域(府県)名*1	紀伊水道(徳島県)	エリア名*1	
藻場の面積	8.2㎡ 出典:【水産研究課現地調査:2017.6】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	砂泥質の浜で、以前はアマモが衰退していた場所。アマモ場づくり活動によって、近年アマモ場が再生されつつある。		
保全の取り組み名称	アマモ場づくり活動		
実施団体名	徳島県漁業士会		
連絡先住所	〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地 徳島県農林水産部水産振興課内		
代表者名	美馬 守	Email	suisanshinkouka@pref.tokushima.jp
団体会員数	36名	HP	
(活動の概要) 徳島市津田地区において、地元小学校、地元漁業協同組合青壮年部と連携したアマモの播種作業を行い、アマモ場の再生と環境学習を実施。			
(主な活動内容) 種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他()			
(最近の活動実績) ・平成29年6月20日 アマモ播種体験			
			
播種作業		環境学習	
			
アマモ		環境学習	

関連する生物種等	は希少種
○藻場の生物:メバル、カサゴ、クマエビ、ガザミ ○海藻(海草):アマモ	
希少種の特徴等	
希少種は存在しない	

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省:H28年~30年)参照